



▲広瀬川灯ろう流し<8月20日>

第35回広瀬川灯ろう流しに今年も大会顧問として参加しました。会場には約4万人が訪れ、2年ぶりの花火大会も行われました。開会式のあとは有料観覧席への誘導案内のスタッフとして汗を流しました。多くの灯ろうが広瀬川の水面に浮かび、幻想的な雰囲気となりました。灯ろう流しでは亡くなった祖母への鎮魂、健忘の早期発見、災害のない一年を祈りました。



▲若林消防団特別点検<8月25日>

令和6年度仙台市若林消防団の特別点検が消防局荒浜訓練場において実施されました。若林区民の安全安心を守るため、日夜訓練に励み、地域のために活動いただいている団員の皆さまには感謝しありません。日々の備えはもとより、まずは自分の身をしっかりと守り、議員として仙台市の危機管理体制の向上に取り組んでまいります。



▲六郷東部地区地域交通出発式<9月2日>

仙台市内6例目(若林区区内初!)となる地域交通の出発式へ。『ひがろく号』(主に高齢者の買物・通院向け)、『くろしお』(主に小学生の通学向け)の2つの地域交通が沖野にあるキュッとタクシーさんが運行事業者となります。インスタで話題のママドライパー、Qレンジャーの皆さんとQポーズ(試験運行後の令和9年度に本格運行を目指します！)



▲あちの阿波おどりのin仙台<10月27日>

阿波おどりを愛する東北の祭連が仙台にやってきました！阿波おどりといえば徳島市ですが、仙台市とは1984年に観光姉妹都市を結んで以来様々な交流事業を行っています。仙台には40年前から活動されている『やっとな仙台』があります。徳島市との友情を大切にしながら、仙台市でも取り組む『やっとな仙台』さん、そして阿波おどりを応援しています！

現地現場主義！地域の諸課題に全力投球！

八軒中学校・七郷堀沿い一方通行(新弓ノ町~八軒小路~南染師町)道路改良工事3か年で

進行中

令和5年度より始まった八軒中学校沿いの一方通行の道路工事が進んでいます。経年劣化により、少し大きな車が走ると地震のように振動がすごいと地域からご意見をいただいております。今年度は八軒小路の十字路から七郷堀沿いまで工事完了です。来年度で工事が完了します。



他にも地域の声をカタチにするため、順次取り組み中です！

市民協働の取り組み~地域みなさんと~

造園若林分会奉仕活動

宮城県造園建設業協会若林分会の顧問を仰せついています。若林区内の公共施設等の剪定作業を、毎年ボランティアで実施いただいております。今回は若林市民センター、若林消防署、業師堂駅前ロータリー、若林警察署の4箇所で実施。職人の技によって鬱蒼としていた樹木が蘇りました！

南染師町東部町内会との協働事業

比翼堀に雑草が繁茂しており、ごみのポイ捨てが増えている」と町内会より相談があり、清掃活動を実施しました。ごみの少ないところには、犯罪が起きにくいという統計も出ています。当日は雨の中での作業でしたが、町内会からは大人や子ども合わせて40名以上ににご参加いただき、町内会の皆さんには堀の上部の草取りやガードレール清掃、区役所の皆さんには堀の中の雑草の剪定作業にご協力いただき、協働のまちづくりによりきれいな七郷堀に生まれ変わりました！

【活動】

- ・広瀬川灯ろう流し実行委員会 顧問
- ・(公社)仙台青年会議所 OB会会員
- ・宮城掃除に学ぶ会 世話人
- ・保護司(若林区保護司会在籍)
- ・交通指導隊(荒浜地区分隊長)
- ・仙台市地域防災リーダー(南材地区)
- ・南材小学校 PTA 監事
- ・南材おやじ倶楽部 事務局長
- ・八軒中学校同窓会 監事
- ・仙台高校同窓会 副会長
- ・デジタル庁デジタル推進委員
- ・こどもまんなか応援ポーター

情報発信中です！



選挙ドットコム
猪又たかひろページ

猪又
隆広

スタート

第17号
発行：猪又隆広事務所
〒984-0816
仙台市若林区河原町1丁目1-30-4
TEL.022-216-3351
FAX.022-216-3352
https://inotaka.info
takahiroinotaka@gmail.com

いのまた たかひろ

仙台市政報告書 vol.017

市政の課題に耳を傾けながら、よりよい政策を提案してまいります！

御挨拶



委員長 猪又 隆広

夏の暑さから一転、秋を飛び越え冬らしい季節になりました。私自身は地域のイベントに邪悪したり、市民の皆様を開きながら、日々地域を歩いております。市議会の方では、仙台市議会第3回定例会が10月4日に開会しました。今回議会での大きなテーマの一つとなったのが宿泊税の導入です。数多ある自治体の中で、国内外の皆様から仙台市が「選ばれる都市」となるためにも、宿泊税の導入は必要です。一方で、新たな税の導入は、議会にとってはもちろん、私自身も大きな決断でした。観光振興は、観光だけに限らず、様々な産業に幅広く波及効果をもたらすものであり、本市経済の活性化や旅行者、市民の利便性向上に寄与するなど、施策実施による効果とその恩恵は広範囲にわたるものであります。観光施策にゴールはありません。宿泊税を導入したことによるメリットを、宿泊事業者や市民の皆様にも実感してもらえよう、適正な予算の使われ方がされているか、しっかりと行政監視を行ってきたいと思っています。

それ以外にも、若林区の諸課題をはじめ、子どもの遊び場や学校のトイレの洋式化、部活動の在り方、引きこもり支援、障害者スポーツ、市道や狭路道路の在り方、民生委員児童委員、投票率向上など様々なことを議会で取り上げました。

衆議院選挙を経て、まもなく年内最後の令和6年度第4回定例会が12月6日より開会します。市民の皆様の日々の暮らしに資するような議論を深め、一つひとつの課題が解決できるような提案に努めてまいります。

市政あれこれ：仙台市からのご案内 (10月26日現在)

仙台市デジタル改善目安箱「サジェストセンダイ(Suggest Sendai)」

■ 仙台市デジタル改善目安箱とは？

市役所不便、デジタルで改善。
“不便に感じた市役所での体験”に関する情報を寄せてください。



本市行政サービスについて、利用者の目線に立ったデジタルによる改善を進めていくため、令和6年4月より、「仙台市デジタル改善目安箱サジェストセンダイ」を開設しました。本市行政サービスの利用にあたり、アナログな手続やルール・慣習により不便に感じた体験について情報を寄せてください。お寄せいただいた情報をもとに、デジタル技術を活用して制度や仕組みの改善・見直しを行い、本市行政サービスをもっと便利に・もっと簡単にご利用いただけるよう取り組みます。

■ 情報の提出方法

仙台市のホームページをご確認いただき、みやぎ電子申請サービスの専用フォームより提出してください。

仙台市ホームページ

情報の提出はこちら



お問い合わせは

仙台市まちづくり政策局デジタル戦略推進部行政デジタル推進課
〒980-8671 仙台市青葉区二丁目12-26 二丁目第三ビル3階303
E-mail kik002070@city.sendai.jp
TEL 022-214-1264 FAX 022-214-8136

■ お寄せいただきたい情報

本市行政サービスの中で、アナログな手続やルール・慣習により不便に感じた体験について、デジタル技術の活用により改善を期待できるもの。

- ▶「窓口で手書きの申請書を提出するよう求められた。オンラインでできたらいいのに。」
- ▶「Webサイトの●●手続の説明がわかりにくかった。」…など

※詳しくはホームページにてご確認ください
お寄せいただいた情報は、市の対応方針とともにホームページにて公表いたします。不便の原因の特定や、対応方針の検討のため、公表までお時間(2か月程度)をいただく場合がありますのであらかじめご了承ください。

仙台市特殊詐欺電話撃退装置等購入費補助金交付事業

■ 仙台市特殊詐欺電話撃退装置等購入費補助金について

特殊詐欺は手口が巧妙化しており、被害は増加傾向にあります。電話の着信時に「この通話は迷惑電話防止のため録音されます」などの音声メッセージ等の機能を有する固定電話機や外部接続機器を購入した方に対し、購入費の一部を補助する事業を開始します。

※宮城県警察が実施する「特殊詐欺電話撃退装置等購入費補助金」とは異なる事業です。

詳細は仙台市のホームページよりご確認ください。(右記の二次元コードからもご覧いただけます)



昭和58年9月24日、栗原市生まれ。仙台市立若林小学校・八軒中学校を経て、仙台高校(吹奏楽部 部長)、東北学院大学卒業(高校社会科教員免許取得)。12年間の衆議院議員秘書(政策担当秘書)を経て、現在、仙台市議会議員(2期目)。趣味は、マラソンと音楽。

仙台市議会 令和6年度 第2回定例会 一般質問

①[子どもの遊び環境の充実について]

▶屋内遊び場の今後の検討、設置の可能性

Q: 子どもの屋内遊び場について伺う。子どもの屋内遊び場に関しては、子育て世代からのニーズが高いことがアンケートや各種調査でも見て取れる。同じ政令市の神戸市では、昭和62年から無料の屋内遊び場「こべっこランド」を整備しており、神戸市全体として子育て世代のニーズを捉えた施策を実現している。市長はこれまで、「近隣自治体の視察などの事例研究を行ってきたところであり、引き続き整備手法も含め、多角的な検討を進めてまいり」と答弁しているが、検討検討と一体いつまで検討をされるおつもりなのか。検討の時期を明確にすべきである。何が課題となっており、その課題がクリアされれば、仙台市内に屋内遊び場が設置される可能性はあるのか。子育て世代に希望を持たせるような答弁を求める。

A: 都市においても、国の交付金の活用や民間資金の活用など手法は様々であり、施設の規模、遊び場の位置づけ、管理運営手法、受益者負担にかかる考え方など、各施設ともそれぞれ異なるものとなっている。本市の検討においても、民間の動向なども踏まえた多角的な検討が必要になってくると考えており、一定の期間を要するだろうと思っている。現時点で、検討のスケジュールについて、明確にお示しできる状況にはないが、市民の皆様から大変期待の高まりというのを私自身も受け止めており、引き続き検討を進めたいと思っている。(市長)



トピックス 他自治体での取り組み視察 兵庫県神戸市 “こべっこランド”

今回の質疑でも、参考にすべきと提案した神戸市の「こべっこランド」を視察しました。この施設は、児童相談所の機能を持つ「こども家庭センター」と併設されており、様々な発達支援事業が実施されており、屋内の遊び場としての位置づけだけではなく、子育て家庭への支援において多様な機能を有している施設です。



質問がメディアにも掲載されました!



②[ひきこもり支援の充実について]

▶今後の施策展開とスケジュール

Q: 本市では15歳から64歳までが暮らし約40万世帯を対象に、令和5年8月から令和6年3月まで「市民の生活状況に関する調査—ひきこもり支援の充実に向けて—」の実態調査を全数で実施した。その調査結果と併せ、私から議会の場で市長に対し「仙台市ひきこもり支援センターに訪問し、当事者や家族、スタッフの方々から直接声を聞き、今後の施策展開に活かしてほしい」と要望していた。市長には実際に5月に訪問頂いた。これらを踏まえ、ひきこもり支援を多角的に検討されると思うが、今後のひきこもり支援における施策展開について伺うとともに、いつまでにお示しできるのか伺う。

A: 今般の調査に回答いただいた、ひきこもりの方々に対し、必要なサービスをご利用いただけるよう、昨年の12月以降、定期的に支援情報や体験談を掲載した情報誌を送付している。本年度半ばには、多様な交流機会を提供するため、新たにオンラインによる居場所事業を開始する予定である。ひきこもりの状態であることが明らかになった方々へのアプローチ法、こういったものについてまず検討を先行していく。併せて、外部有識者で構成する、ひきこもり支援体制評価委員会において、様々な分析を進めながら、更なる支援のあり方について検討し、来年度以降の事業展開に努めてまいり。(健康福祉局長)

ひきこもりの方向けに市の委託事業としてオンラインの居場所事業が開始されました! 関連記事は3面で▶▶

【一般質問の様子はこちらから】

今回の議会での様子や、これまでの議会での質疑などの様子はこちらの二次元コードからご覧いただけます。
仙台市議会インターネット議会中継ページ▶▶▶



③[学校部活動について]

▶部活動の維持、部活動継続の通知時期、検討会議設置

Q: 少子化の影響で学校によっては生徒数も緩やかに減少しており、在籍教員数も減っていることから部活動の維持は非常に困難になっている。部活動の継続や廃部の決定は校長が行うが、周知の時期は学校ごとに異なっている。早い段階での周知はもとより、小中学校の連携がより重要になってくる。子どもたちの目線に立った部活動継続や廃部の通知時期を検討するとともに、有識者による部活動の地域移行や部活動の今後の在り方を議論する検討会議を立ち上げるべきと考えるがいかがか。

A: 部活動は任意の加入であり、学校外のチームクラブで活動している生徒もおり、加入率は10年程前から低下傾向である。特に運動部においては学校単位でチームを組むことが難しい状況もある。通知等の時期は、各学校が状況に応じて判断しているが、特に6年生にとっては、次年度に進学する中学校にどのような部活動があるかは、関心が高く、適切な情報提供が大切であると考えており、中学校区内の小学校への事前の周知は重要であるものと認識している。今年度、有識者や関係団体等による協議会を立ち上げ、部活動の今後のあり方やその運用について、ご意見を頂戴しながら検討を進めてまいり。(教育長)

質問がメディアにも掲載されました!



仙台市議会 令和6年度 第3回定例会 一般質問

①[六郷地区公園ストック再編事業について]

▶事業の進め方の認識と効果検証

Q: 若林区の六郷地区は、ミニ開発によって宅地開発がなされた地域であり、そこに付随して非常に小さな公園、所謂狭小公園が多数存在するエリアである。今回の公園ストック再編については賛同するものだが、公園利用が増えるのか、利用満足度向上するのかなどというところは懸念される。まずは、町内会住民へのアンケートでのニーズ調査、ワークショップなどを通じ、本当の意味での地域の理解醸成が必要ではないか。公園の名称についても一考の価値があると思う。中欄東8号公園、河原下5号公園、上飯田大町4号公園など当時のミニ開発に合わせて、行政が機械的に割り振りした公園の名称が今でもそのまま使われている。今回の再整備に合わせて見直すべきではないか。

A: 令和5年度から、事業にご協力いただける9つの町内会や公園を日ごろよりご利用されている子供会や保育所の関係者から直接意見を伺いながら、1年間を通して地域のニーズの把握に努めてきた。効果検証については、公園ストック再編に伴う維持管理コストの低減について検証を行うほか、アンケートや利用者からの聞き取りなどにより、地域の皆さまの意向を確認しながら、利用満足度を把握してまいりたい。公園の名称については、公園の所在地を容易に判断できるとともに、他の公園名称とも重複がなく、管理のしやすさの面なども考慮して定めている。地域の皆さまに愛着を持ってご利用いただけるよう、名称等についても検討してまいりたい。(若林区長)



②[学校トイレの洋式化について]

▶整備状況、整備計画の見える化

Q: これまで学校トイレの洋式化を進めるべく、何度も教育局とは議論を重ねてきた。現在の区ごとの整備状況はどのようになっているのか。また、保護者や子どもたちが本市の学校トイレ洋式化の進捗を知る術がなかったことから、公表するよう提案をしていたが、検討状況はいかがか。

A: 学校単位で50%に達していない学校数は、青葉区が8校、宮城野区が7校、若林区が5校、太白区が10校、泉区が5校ある。校舎の増改築等に合わせ洋式化を進める予定であり、工事が完了する令和8年度にはすべての学校で50%を超える見込みである。整備の取り組み状況については、整備事例も示しながらホームページで公表した。(教育長)



取り組みます!

市長からは令和10年度には、学校全体でトイレの洋式化の割合が80%になるよう取りくみたいと答弁がありました!

整備状況の見える化、今後の取り組み状況を明確化することで子どもたちのトイレ環境が大きく改善します!

- [令和6年度の予定].....
- 1) 個別洋式化工事 遠坊小路小学校 沖野中学校
 - 2) 大規模改修工事 南小泉小学校 若手 沖野小学校 若手 古城小学校 若手



今年一般質問で実現しました!

障害児がいる家庭の中で、日常生活用費費支給事業、難聴児補聴器購入費等助成事業の所得制限撤廃へ! 保護者の所得に関わらず、子どもの育ちを支えるとともに、子育てに要する経済的負担の軽減を極力図るべきです。令和6年11月より、所得制限が撤廃されました!(なお、国としては障害児の補装具費支給制度の所得制限は、4月に撤廃されました。これを受けての市民の声でした。)

メディアにも掲載されました!



今年一般質問で明らかになりました!

国内外の他地域から訪れる方々の利便性向上に向けて、仙台市営地下鉄でのクレジットカードのタッチ決済が令和9年度より始まる予定です! 実証実験がスタートします。

オンライン居場所「ここにいるよ。」-kokoiru- 令和6年10月30日オープン!



オンライン居場所「ここにいるよ。」-kokoiru- 仙台市の委託事業として社会福祉法人わたげ福祉会(若林区遠見塚)と仙台テレビ・ド・ジュ研究会が共同で運営する「オンライン居場所」ここにいます。(運営団体: 共同事業体ここにいるよ。)がオープンしました。

応じて「対面での支援」につながることを目的としています。「ここにいるよ。」は、同じ悩みを持つ人との交流や専門職との相談ができるオンラインの居場所です。仲間づくりや社会につながるきっかけとなるような、交流ができるフリースペースや専門職による個別相談、多種多様なプログラムによる交流支援、他機関への紹介・連携(対面支援への移行)等、多様なプログラムを用意しております。なお、最大50分の個別相談は、各専門職と話すことができます。チャット・ビデオ通話・音声通話のいずれの方法でも対応可能ですので、ご自身の状態に合った方法をお選びいただくことが可能です。詳細は右記の二次元コードからご覧ください。▶▶▶



みなさまの「ちよつと、困ったな...」や「ここをこうして欲しい!」などのご要望は、ぜひ、お気軽に猪又たかひろ事務所に相談ください!